

令和 6 年度第 2 回旭川市スポーツ推進審議会 会議録

会議概要	
日時	令和 6 年 12 月 23 日（月曜日）午後 6 時から午後 8 時まで
場所	旭川市役所 総合庁舎 7 階 大会議室 C
出席者	<p>委員（9 人） 赤堀会長，飯田副会長，稲田委員，大熊委員，川崎委員，佐竹委員 角尾委員，富田委員，藤田委員</p> <p>事務局（9 人） スポーツ推進課 松田課長，山内施設管理・合宿担当課長，大野主査， 道下主査，今主査，成田</p> <p>スポーツ施設整備課 川原課長，大久保主幹，小林主査 計 18 人</p>
欠席者	1 人（阿部委員）
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	1 人（報道機関）
会議資料	<p>次第</p> <p>資料 1－1 花咲スポーツ公園新アリーナ等基本計画（素案）について 資料 1－2 花咲スポーツ公園新アリーナ等基本計画（素案）</p> <p style="text-align: center;">【当日配布資料】</p> <p>資料 1－3 花咲スポーツ公園新アリーナ等基本計画（素案）概要版 資料 1－4 花咲スポーツ公園再整備基本構想</p> <p>資料 2－1 部活動の地域移行（令和 6 年度の取組み） 資料 2－2 令和 7 年度『部活動地域移行に関する実証事業』の取組予定</p> <p>資料 3－1 カムイスキーリンクス料金改正について 資料 3－2 カムイスキーリンクス利用料金規程 新旧対照表</p>

会議の結果内容

1 開会

【事務局】

- ・欠席者，WEB 会議参加者の確認及び会議の成立の説明があった。
- ・委員の就任について報告し，就任者へは菅野副市長から委嘱状が交付された。

2 委嘱状交付

- ・菅野副市長から委員へ委嘱状を交付

3 副市長挨拶

- ・菅野副市長から挨拶

4 委員紹介

- ・委員から自己紹介

5 事務局紹介

- ・事務局の紹介

6 議事

(1) 会長及び副会長の選出について

【事務局】

- ・会長・副会長はスポーツ推進審議会条例に基づき互選での選出となるが，意見があるか。
- ・発言がないので，事務局からの提案での選出でよいかの確認。了承された。
- ・事務局案として，会長赤堀委員，副会長飯田委員を推薦。了承された。

【会長】

- ・挨拶

(2) 花咲スポーツ公園再整備について

【事務局】

- ・資料に沿って説明

【委員】

- ・花咲スポーツ公園には総合体育館以外の施設も老朽化しているが、その整備についてはどのように考えているのか。

【事務局】

・令和6年度3月に策定した基本構想は花咲スポーツ公園全体の構想としている。今年度はその先駆けとして、中核となる総合体育館の建替を中心とした基本計画の整理を行っている。来年度以降は、その他施設の機能見直しや修繕等の整理を行う基本計画の策定を予定している。

【委員】

・バリアフリーについての考えはどのようになるのか。

【事務局】

・バリアフリーについては、資料1-1では14ページの「ユニバーサルデザイン」に記載している。具体的な施設整備が見えてきた段階で、利用者からの意見を伺いたい。

【委員】

・花咲スポーツ公園の総合体育館の建替に関する事業手法は決まっているのか。また、駐車場の冬期の確保や興行時の公共交通機関等は検討されているのか。

【事務局】

・様々な官民連携手法を調査している段階であり、費用対効果など考慮し、年度末まで調査し方向性を定めたい。

・冬期の駐車場除排雪に係る雪の堆積場所について現在は駐車場内へ堆積しているが、新アリーナについては、多目的運動ゾーン等に堆積スペースを設けるなど、季節で駐車台数が変動しないよう配慮する

・興行時の公共交通の確保に向けては、市の所管部局と今後、協議が必要と考える。

【委員】

・河川敷を駐車場に使用すると、渋滞となり、近隣住民の迷惑となり、今後も使用を想定するのであれば、対策が必要。

【委員】

・メインアリーナの規模を拡大する余地はあるのか。また、観客席の配置はどうなっているのか。

【事務局】

・メインアリーナの規模拡大は、限られたスペースの中での配置等考慮した結果、現段階では考えていない。東光スポーツ公園に整備する予定の複合体育施設は、市民利用や大会開催に適したスポーツ施設、花咲スポーツ公園に整備する新アリーナは、プロスポーツや多目的な用途に対応できる多目的アリーナといった役割分担を想定しており、複合体育施設についてはバスケットボールコートが3面設置可能な規模のメインアリーナを整備する予定である。観客席については、常設・移動席を4方向に配置予定である。

【委員】

・新アリーナについて、大会数などの数値目標は定めているのか。

【事務局】

・この基本計画では大会数等の具体的な数値目標は定めていない。新アリーナは、プロスポーツやライブ等の興行も行いながら、市民利用も行う多目的なアリーナとして整備を行うものであり、大会利用を含めた市民利用の中心は東光スポーツ公園に整備する予定の複合体育施設と考えている。

(3) 部活動の地域移行について

【事務局】

- ・資料に沿って説明

【委員】

- ・旭川市の今後の方向性を聞きたい。

【事務局】

・部活動の競技種目や学校によってニーズが違うので、必要性を把握しながら、部活動と団体等とのマッチングを進めていく。レベルの高低や様々な種類等、いろいろなパターンを作り、移行していくことが目標である。

【委員】

・今年度の実証実験のような取組を広げ、生徒たちの選択肢が広がるよう、来年はもっと早い時期から進めてほしい。方向性の決定までに時間を要すると、受け皿となりうるクラブチームができて経営が立ち行かなくなるなどの弊害も考えられ、方向性を早く決め生徒が迷わないよう、第1に生徒たちにとってより良い手法で進めてほしい。

- ・自治体のバックアップのもと部活動の地域移行の受け皿となる団体を創設できると良い。

(4)カムイスキーリンクスのリフト利用料金改正について

【事務局】

- ・資料に沿って説明

【委員】

- ・新規創設された20時間券の利用状況を今後お聞きしたい。

・学校のスキー授業に係る料金については、今年度は据え置きとなっているが、昨今、バス代の高騰やバス確保の困難等により授業実施回数の減少や授業が廃止される可能性が大きく、こどもたちのスキー離れが心配。実態を考慮して、来年度以降料金を変更する可能性はあるのか。

【事務局】

- ・来年度以降の料金については現時点では未定だが、検討の材料としたい。

【委員】

・資料に利用者の推移がなかったので、値上げの経過として、利用者数の推移がわかるものを添付してほしい。

【事務局】

- ・資料に追加し公表する。